

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495100065	事業の開始年月日	平成19年2月1日	
		指定年月日	平成19年2月1日	
法人名	株式会社 ヘルシーサービス			
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ガーデンコート川崎			
所在地	(212-0053) 神奈川県川崎市幸区下平間357-2			
サービス種別 定員等	<input checked="" type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	25 名	
		通い定員	15 名	
		宿泊定員	5 名	
		定員計	名	
		ユニット数	ユニット	
自己評価作成日	平成24年10月31日	評価結果 市町村受理日	平成25年4月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・内部、外部研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図りお客様・ご家族様及び職員が安心して過ごせる環境に努めております。 ・小規模多機能型居宅介護では、お客様のご意見・ご要望に柔軟に対処できるように心がけております。
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成24年11月22日	評価機関 評価決定日	平成25年1月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の優れている点】 ◇アンケート調査による利用者・家族の意見の反映 法人が年2回、「お客様満足度アンケート調査」を実施し、事業所の運営に反映している。アンケート結果は内容を分析、課題を抽出し、質問には回答したのち玄関フロアに掲示している。 家族から出された意見や要望を、サービスの質の向上につなげるように努めている。</p> <p>【事業所が工夫している点】 ◇利用者本位の分かりやすい案内表示 事業所案内のパンフレットには、小規模多機能型居宅介護の基本となる「通い」を中心に「泊まり」と「自宅への訪問」のサービス機能を柔軟に組み合わせた利用の仕方を、漫画風に分かり易く説明している。</p> <p>◇個人日誌を活用した連絡 通いサービスの利用者には、個人日誌の「ご利用状況表」にその日の生活状況、バイタルチェックの結果などを記入し、送迎時の声かけや家族との連絡に活用して利用者と家族の安心につなげている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ガーデンコート川崎
ユニット名	グループホーム2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人事異動によりまだ月日が経っていないため不十分ではあるが、早期に実践していきたいと思う。現状は日々の朝礼や情報共有ノートを活用し、月1回の会議及び研修の資料としている。	<ul style="list-style-type: none"> ・開設時から理念は、2階・3階のエレベーターホールに掲示している。 ・管理者が新入職員研修時に理念を説明し、職員は毎月の全体会議で理解を深めて実践につなげている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現状、近隣の方々がお立ち寄り頂くことはあまりございませんが、運営推進会議等を定期的に開催し、地域住民の方々や民生委員にご参加は頂いている。 お客様とのお散歩時にはご挨拶等交している。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会に加入し、利用者は町内のお祭りを見物したり、防災訓練に職員と一緒に参加している。 ・納涼祭には地域の子どもたちが来所し、射的・金魚すくいなどを利用者と一緒に楽しんでいる。 ・ボランティアが来訪し、トランペットやバイオリン演奏と歌を披露し、交流を深めている。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだまだ至っておりません。 職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施しており、現状報告をさせていただくと共に、ご意見・ご要望においては積極的に取り入れていくようにしております。	<ul style="list-style-type: none"> ・併設のグループホームと合同で2か月に1回開催している。 ・会議では事業所の運営状況や活動内容を報告して、意見交換を行い、地域の理解と支援を得るよう努めている。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	訪問や電話でのやり取りにて相談及び助言を伺ったりしております。	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は区役所介護保険課に運営面や取組み状況を報告し、指導と助言を仰いでいる。 ・介護保険の更新手続きを家族に代わって出向くこともある。 ・地域包括支援センターから入居者等の情報を貰っている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	参考資料を基に職員研修やミーティングにて情報の共有を図っており、日々状態観察にて身体や精神面の異変の確認やコミュニケーションによる情報収集は徹底していく方向です。	・「身体拘束をしないケアに対する理念及び方針」を掲げ、職員研修やミーティングで確認し合い拘束をしないケアに取り組んでいる。 ・グループホームと共有の玄関は施錠せず、見守りながら自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	参考資料を基に職員研修やミーティングにて情報の共有を図っており、日々状態観察にて身体や精神面の異変の確認やコミュニケーションによる情報収集は徹底していく方向です。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修にての研修に参加しております。 ご本人様・ご家族様等関係者の方々が少しでも不安・不満・不快な思いを抱いておりますと安心して生活できない状態だと認識しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人様・ご家族様等関係者の方々が少しでも不安・不満・不快な思いを抱いておりますと安心して生活できない状態だと認識しておりますので意識して取り組んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、その場でのご意見・ご要望は真摯に受け止め改善・向上しております。 また、組織全体として年に2回、お客様アンケートを実施しております。	・家族からの意見、要望は運営推進会議や来訪時、送迎時に聴いて運営に反映している。 ・法人は年2回、「お客様満足度アンケート調査」を実施し、課題を抽出してその結果を公表し、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の職員会議及び研修の場を取り入れております。 また、3ヶ月に1回の職員面談を実施しております。	・管理者は月1回の全体会議や朝・夕の申し送り時に職員から日常業務の要望や提案を聴き、業務の改善や向上に反映している。また、職員面談で、個別に話を聴いている。 ・法人の代表者が月1回巡回し、職員から意見や要望を聞いて運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度を導入しております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画作成時に社内研修及び社外研修を設定し、積極的に研修に機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	講習会や研修会には積極的に参加するよう努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様・ご家族様が安心してご利用いただける様に初会面談等にてご不満やご要望を多く聞き安心していただける様に心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様・ご家族様が安心してご利用いただける様に初回面談等にてご不満やご要望を多く聞き安心していただける様に心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々なサービスがある中の1サービスであることはご説明させていただき、お話をお聞きしている際に他のサービスが良い場合にはご相談及びご紹介させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様は人生の大先輩であり尊敬の念をもち、日々のコミュニケーションにより多々学ぶこともございます。職員もお客様には安心をご提供すると共に、共に楽しく過ごすをモットーに日々過ごしていると認識しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護計画に変更があった際などは、その都度ご家族と連絡をとり支援内容の説明及びご家族様の意見を頂戴し、介護計画書に反映させていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や手紙はもちろんホームへは、誰でも来訪できるようにしているため、友人の方々等気軽に来訪されています。	・利用者は家族と一緒に馴染みの美容院へ出掛けたり、自宅へ帰り、近所の方と会話を楽しむなど、馴染みの関係の継続を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体的な支援は当然ながら、精神的な支援に重きを置いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様及びご家族様にご迷惑がない程度にはお付き合いはさせていただいております。また、ご利用しなくても遊びに来ていただくようお願いさせていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の朝礼や会議にて職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を徹底するように啓蒙しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は利用者の日常の行動や表情、会話から意向や希望を汲み取り、入浴時や夜間の静かな時間帯に話を聴き、思いの把握に努めている。 ・意思疎通が困難な場合は、家族から情報を得たり、表情やしぐさから思いを把握している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントを元に、日々のコミュニケーションの中で頂く情報を職員内にて情報共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の朝礼や会議にて情報共有し、また、モニタリングの実施にて管理者やケアマネージャーからの情報提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング及びサービス担当者会議及び職員会議にて実施しております。	・ケアマネジャーが本人や家族の意見や要望をアセスメントし、職員間でカンファレンスし、モニタリングして医師の所見を入れて作成している。 ・見直しは通常は3か月、変化があれば随時状況に応じて見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人台帳を保管し日々の日誌を随時ファイリングしており、台帳を基に日々の朝礼や会議にて検討しています。また、見直しが必要な際は介護計画の見直しを実施しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	アセスメント及びモニタリングを定期的実施し、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様本位の支援を心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	限りある資源を把握し、アセスメント及びモニタリングを定期的実施し、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様が安心してお過ごしいただけるようお客様本位の支援を心がけております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的にお客様ご自身のご意見に沿っております。	・本人や家族の希望するかかりつけ医による医療を継続できるように支援している。大部分が協力医療機関をかかりつけ医としている。 ・医療情報は「看護・介護サマリー」の書面をもらい、個人のケース記録に入れ、情報の共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	個人記録や日々の状態観察により異常の早期発見・対応を心がけております。 異常時には早急にご家族様にご連絡し適切な医療への受診を啓蒙しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院後にお客様がご安心して支援を受けられるように心がけ、関係医療機関とは情報の共有に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化または終末期になりうる状況の際は、ご家族、主治医と密に連携を図り、援助計画を基に情報を共有している。職員間に関しても情報を共有し、ご家族、主治医、職員間においても統一したケアを徹底している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ターミナルケアは法人の方針として設備面、職員の対応面から、対応しない考えである。 ・急変時には医師の指示と指導の基に家族と話し合い、利用者にとって最善の方法を採ることを確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・急変時や重度化した場合の対応について、職員や家族も方針を共有し、職員の勉強会などを実施し、支援に取り組むことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルに基づいている。マニュアルは各フロアに設置されておりすぐに閲覧可能となっている。なお、緊急連絡先も添付しておりマニュアルにそった対応ができるよう会議等で確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	会議にて防災説明を行い消火器の位置、避難経路の確認。災害時の動きなどの説明を行っている。また、緊急時の避難場所を設定し日々の散歩コースに取り入れている。また、地区の防災訓練に参加し地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・避難訓練は同一法人のグループホームと合同訓練を年2回実施している。夜間を想定した訓練でも消防署の協力も得ている。 ・運営推進会議では地域の方の協力を要請しており、民生委員と近くのオーナーが訓練に協力している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として非常災害用の食料や飲料水の備蓄を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全体が個人情報保護の契約書を交わしている。お客様の立場にたち、声かけはゆったり優しい口調で話しかけ明るく話しかけるよう心掛けている。	・職員は個人情報保護の研修を受け、誓約書を提出している。個人情報に関する書類は、鍵のかかる棚に保管している。 ・呼びかけは苗字をさん付けし、敬語で話しかけるなど、年長者への尊敬の念を持って対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中で、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様の以降にできる限り沿った支援を心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を心がけるよう、日々の申し送りや会議・研修にて啓蒙しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様の思考に沿うよう、お客様本位の支援を心がけております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。	・食事が楽しみなものとなるよう、敬老の日にはお寿司をとったり、時には皆でラーメンを食べに行くこともある。誕生会では、おやつを手作りケーキにしている。 ・利用者は職員と歓談しながら食事をしている。	・食卓の準備、盛り付けなど、できる範囲で利用者が参加できるような支援が望まれます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様の残存機能を活かしながらの支援を心がけております。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは必ず実施しております。			
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本来の自立支援に基づき、お客様の精神的・身体的状態を心がけながら実施しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリパンツやパッドを付けている利用者也、声を掛けてトイレに誘うようにしている。 ・入院してリハビリパンツになった利用者を、布パンツに戻した事例がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、「排便チェック表」は作成し活用していますが、自立支援のためには排泄全般のチェック表を作ることが望まれます。 	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の日常生活動作や飲食物にも変化をもたらしながら対処させていただいております。			
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現状はまだまだ至らない点もあり、今後はよりお客様のご要望にそう対処を実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・通いも泊まりの方も本人の希望により、週2~4回入浴し、シャワー浴もしている。 ・入浴を好まない方には、時間をずらしたり、別の職員が声を掛けたり、不安な気持ちをなだめるように工夫している。 ・菖蒲湯など季節感を味わえるように工夫している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の生活状態に合わせる、お客様本位の支援を心がけながら実施しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師のアドバイスやご利用者様一人ひとりの服薬について副作用の怖さや、誤薬の防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	事前面談資料やアセスメント及びモニタリングに職員は目を通し、また、日々のコミュニケーションの中でお客様より情報を聞き入れるように空いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。	・事業所周辺を散歩したり、おやつなどの買い物に職員が付き添っている。多摩川へのドライブに、希望者を募って行くこともある。 ・車椅子の方も外気浴をしている。陽当たりのよいエレベーターホールで日光浴をしたり、ボール遊びをすることもある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてお預かりはしておりますが、自動販売機にて飲料水を購入したり、近隣へお買い物に行くようには努めておりますが、もっと機会を増やしていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご要望があれば支援させていただきます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	十分に意識し、出来る限りの配慮をさせていただいておりますがまだまだ至らない点もあるかとは思っております。	・共用空間は、広々としてゆとりがあり、リビング、エレベーターホールは日差しが入って明るく、エアコン、加湿器で温・湿度を調整している。 ・壁面には、季節の装飾や利用者の作品、写真を飾って、生活感・季節感を味わえるようにしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	時折テーブルの位置を変えたり、ソファにてお過ごしいただいたりしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居の際に、馴染みの物を使用し頂けるようにご説明し、お持ちより頂いております。ご入居後もご本人様及びご家族様とはお話をさせていただきながら模様替え等も実施しております。	・泊まりの利用者は、ポータブルトイレなど必要なものを自由に持ち込んでいる。 ・居室は3階の個室か2階のリビングを仕切った所を、本人の希望を聞いて決めている。枕の位置も、本人の希望で変え、居心地よく過ごせるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	会議等でケース検討し実施しております。		

目 標 達 成 計 画

事業所名

小規模多機能ステーションガーデンコート川崎

作成日

平成25年1月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	急変時や重度化した場合について、職員や家族も方針を共有し、職員の勉強会などを実施し、支援に取り組む。	職員全員が理解し、ご家族様にも具体策を提案し、安心してお過ごしいただけるようにする。	職員会議にてマニュアルや重度化の方針案を説明し、職員全員が理解する。関係者様には運営推進会議時や来訪時にご説明していく。	平成25年3月末
2	13	事業所として被害災害用の食料や飲料水の備蓄をしていく。	いつ災害が発生しても職員やお客様が不安にならないようにする。	必要リストを作成し、随時購入し備蓄しておく。	平成25年1月末
3	15	食卓の準備、盛り付けなど、できる範囲で利用者が参加できるような支援をしていく。	お客様の残存機能、ADLの向上、QOLの拡大を目標とし、少しずつご協力していただける体制にする。	職員全員がケアプランを理解し、お客様と共に過ごすという考えを浸透していくよう、日々のミーティングや職員会議にて意見交換していく。	平成25年2月末
4	16	現在、「排便チェック表」は作成し活用しているが、自立支援のためには排泄全般のチェック表を作ることが望まれます。	職員が把握しやすいチェック表を作成し、お客様の自立支援に向けて取り組んでいく。	日々のミーティングや職員会議にて職員の意見を聞き入れ、把握しやすいチェック表を作成し、職員全員が理解していく。	平成25年2月末
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。